

# UiPath Automation Hubテーマにウェビナー開催

## RPA導入後の課題支援

(株)クレスコ

独立系システムインテグレータの(株)クレスコは3月16日、「RPAをみんな育てて、みんなの業務をデジタル化〜UiPath Automation Hub〜」と題してウェビナーを開催した。RPAを導入したものの、推進に課題を感じている企業の関連部門の担当者を対象としたもので、当日はクレスコの海野平和氏と吉田将明氏が、UiPath(株)の「Automation Hub」の概要と、同ソリューションを活用した同社のRPA推進支援策について紹介した。

### 現場の課題にフォーカス

セミナーは3部構成で行われ、第一部では海野氏がAutomation Hubの機能概要について解説した。同氏は「人的リ



海野氏



吉田氏

は、昨今、RPAを導入する企業が着実に増加する一方で、うまく活用できていない現状も見えてきたと述べ、同社が主催するRPAセミナーでのアンケートでは、「現場担当者が多忙」「人的リソースが足りない」「対象案件が出てこない」といった点がRPA導入のつまずきポイントとなっていることがうかがわれるとした。

クレスコでは、こうした課題を解決する方法の一つとして、Automation Hubの活用を推進している。同ソリューションは、RPA利用部門からのアイデア(要望)提出から本番稼働までの一連の流れ(RPAライフサイクル)を管理するウェアラブルサービス。自動化候補業務の共有や、費用対効果の算出、ドキュメントや自動

化部品の共有など、RPA推進に役立つ機能をベータ版として提供している点も特徴だ。

同セミナーでは、自動化のライフサイクル管理について、RPA利用部門の業務担当者からのアイデア提出、上司による申請内容のチェック、業務部門リーダーによる評価、RPA推進事務局による審査、RPA開発チームによる実装を経てロボットの活用を実現していくまでの流れを、同社社員が実演しながら分かりやすく解説した。

その上で、ソリューションの導入効果として、候補業務(アイデア)の事例の閲覧によってインスピレーションが得られることや、九つの質問に答えるだけで自動化の向

き不向きや準備状況がスコーピングされること、決められた項目を入力するだけで導入効果が算出されることなどを挙げ、「候補業務の提出に加え、アイデア評価のベーストブラクティスを提供できることがポイントだ」と強調した。

第2部では2020年7月にUiPathの技術書「基礎がよくわかる！ゼロからのRPA UiPath超実践テクニック(オーム社)」を執筆・出版し、20年10月には「UiPath Japan MVP2020」に選出された吉田氏がAutomation Hubの導入のポイントを具体的に説明した。

同氏は、RPAを導入したものの、何から手を付ければよいか分からないという悩みについて、「RPAライフサイクルに従って準備を進めることでスムーズに移動を進めることができる」として、運用プロセスの設計のポイントを解説。現在の運用プロセスと導入後の運用プロセスを比較検討し、差分がある場合は運用プロセスの見直しを検討する必要があるとした。

また、各担当者の作業範囲や責任範囲を整理し、自社の運用管理体制に合わせた権限をロールとして付与する必要があることも指摘。また、Automation Hubの管理項目の設計のポイントについても解説した。

第3部では吉田氏が事例紹介を行い、大規模展開済み企業における導入事例を紹介した。それと併せて、クレスコが提供する「Automation Hub導入支援サービス」として①運用プロセス設計支援②ユーザーロール設計支援③Automation Hub管理項目の設計を紹介。最後にあらためて同ソリューションの魅力として、全社員が利用できること、SaaSであること、2カ月間の無料トライアルが可能であることなどを挙げ「Automation HubはRPAをみんな育てるためのツール。導入を検討する際にはぜひ相談し

てほしい」と呼び掛けた。

### RPAの全社展開を目指して

(株)クレスコでは近年、新規顧客向けにRPAに関するセミナーを継続的に実施している。そのうち、吉田氏は「以前は開発を担当する人材がいなかったか、RPAが安定して動かないといった課題が多かったが、最近では、RPAの定着や進行等、多くの人が関わることの難しさを感じている企業が増えてきていると感じている」と語る。

そこで同社では、現在、導入先企業でのITリテラシーの向上やDX人材の育成を目的に、RPAの前段となる業務選定やプログラミングに関する基礎知識などの教育コンテンツの拡充も検討している。

多くの企業でAutomation Hubの提供に携わってきた海野氏は「ほとんどの保険会社ではすでにRPAを導入されていると思うが、今後全社に広げていく上で、Automation Hubはお勧めできるサービス。当社ではソリューションの提供と人材育成の両面での支援に取り組んでいるので、導入を検討してもらいたい」と力を込める。

## 社内のDX人材教育に注力

多くの企業でAutomation Hubの提供に携わってきた海野氏は「ほとんどの保険会社ではすでにRPAを導入されていると思うが、今後全社に広げていく上で、Automation Hubはお勧めできるサービス。当社ではソリューションの提供と人材育成の両面での支援に取り組んでいるので、導入を検討してもらいたい」と力を込める。